

ログ
日次

Copyright © 2010 NTT DATA INTELLIMATCH
CORPORATION

↑ Top

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
- 3. セットアップの流れ
- 4. モジュールの選択
- 5. 関連アプリケーションのインストール
 - 5.1. PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト
 - 5.2. 各製品のインストール方法
 - 5.2.1. IM-PDFAutoConverterのインストール
 - 5.2.2. IM-PDFCoordinatorのインストール
 - 5.2.3. LibreOffice(Windows版)のインストール
 - 5.2.4. LibreOffice(Linux版)のインストール
- 6. 関連アプリケーションの起動・停止
 - 6.1. LibreOfficeの起動・停止(Windows版)
 - 6.2. LibreOfficeの起動・停止(Linux版)
- 7. テナント環境セットアップ
- 8. アップデート・パッチの適用
 - 8.1. アップデート
 - 8.2. パッチ
- 9. アンインストール

改訂情報

変更年月日 変更内容

2013-09-13 初版

2014-06-09 第2版 下記を追加・変更しました

- 目次構成を改善しました(intra-mart Accel Platformと重複する内容を削除しました)。

2014-09-01 第3版 下記を追加・変更しました

- 「モジュールの選択」を追加しました。
 - サポートするPDF変換ソフトの追加に伴い、説明を見直しました。
-

はじめに

本書の目的

intra-mart Accel Archiver は、intra-mart Accel Platform 上で動作するモジュールとなります。

本書では intra-mart Accel Archiver に関するセットアップ内容について説明します。

基本的なセットアップ内容は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」を参照してください。

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

詳細は「[リリースノート](#)」-「[システム要件](#)」を参照してください。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- 当製品のセットアップを行われる方

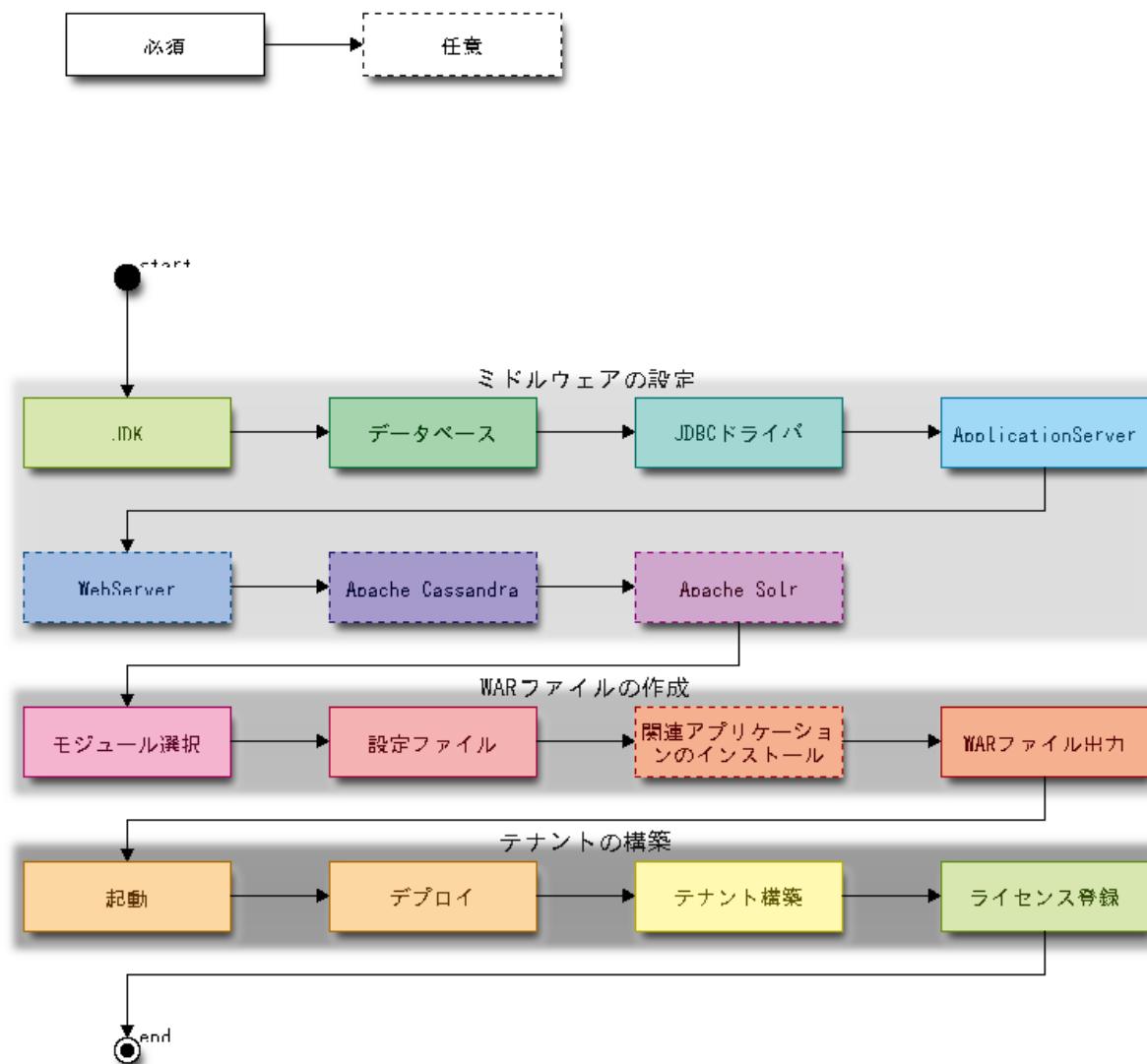
セットアップの流れ

セットアップの手順は次のフローチャートの通りです。

各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

- 凡例

必須…セットアップが必要な項目です。
任意…セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
Apache Cassandra	Apache Cassandra
Apache Solr	Apache Solr

Name	Description
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択 ※選択するモジュールについては モジュールの選択 を参照してください。
設定ファイル	基盤の設定ファイル ※ intra-mart Accel Archiver では SAStruts を利用しますので こちら の設定は必須となります。 また、ファイルアップロード時の上限サイズを制限したい場合は、 ファイルのアップロードを制限する方法 を参照してください。
関連アプリケーションのインストール	関連アプリケーションのインストール
WARファイル出力	WARファイルの出力
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
end	

モジュールの選択

intra-mart Accel Archiverで利用できるモジュールは以下の通りです。利用するものを選択してください。

選択する際、依存関係のあるモジュールがインストール対象となっている必要があります。

機能名	利用可能エディション	説明
基本モジュール	Standard Editon	intra-mart Accel Archiverの基本機能となります。 インストール対象から外すことはできません。
	Advanced Editon	
IMBox 連携モジュール	Standard Editon	intra-mart Accel PlatfromのIMBox機能と連携する機能です。 新着ドキュメントの通知などをIMBoxに通知することができるようになります。
	Advanced Editon	
ポータル 連携モジュール	Standard Editon	intra-mart Accel Platfromのポータル機能と連携する機能です。 新着ドキュメントの通知などをポータル上に通知することができるようになります。
	Advanced Editon	
IM-ContentsSearch 連携モジュール	Standard Editon	intra-mart Accel PlatfromのIM-ContentsSearch機能と連携する機能です。 全文検索機能(コンテンツ・変更履歴として登録されたファイルに記載されている文字データから検索を行う機能)を利用できるようになります。
	Advanced Editon	
IM-Workflow 連携モジュール	Standard Editon	intra-mart Accel PlatfromのIM-Workflow機能と連携する機能です。 ドキュメントを作成する際、ワークフロー(申請～承認)を利用できるようになります。
	Advanced Editon	
IM-PDFAutoConverter 連携モジュール	Standard Editon	IM-PDFAutoConverterと連携する機能です。 コンテンツ・変更履歴として登録された電子ファイルをPDFファイルに変換することができるようになります。 また、変換したPDFファイルにセキュリティ(印刷制限・編集制限・テキスト抽出制限)を設定できるようになります。
	Advanced Editon	本機能を利用する場合は、IM-PDFAutoConverterをユーザモジュールから登録し、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象として選択してください。 本機能を利用しない場合は、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象から除外してください。
IM-PDFCoordinator 連携モジュール	Standard Editon	IM-PDFCoordinatorと連携する機能です。 変換したPDFファイルにセキュリティ(ブラウザ以外の参照制限)を設定できるようになります。
	Advanced Editon	本機能を利用する場合は、IM-PDFCoordinatorをユーザモジュールから登録し、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象として選択してください。 ※本機能を利用するにはIM-PDFAutoConverter、および「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」のインストールが必要となります。 本機能を利用しない場合は、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象から除外してください。

関連アプリケーションのインストール

PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト

登録したコンテンツをPDFファイルに変換、またPDFファイルにセキュリティ対策のオプションを設定するために必要となります。

またコンテンツのサムネイル表示を行いたい場合はPDF変換ソフトのインストールが必要となります。

以下の組み合わせより必要なソフトのインストールを行ってください。

IM-PDFAutoConverter		IM-PDFCoordinator		IM-PDFAutoConverter	LibreOffice	インストールしない
+ PDF変換可否		変換可 (変換精度:高)		変換可 (変換精度:高)	変換可 (変換精度:低)	変換不可
オプション						
・印刷制限	使用可		使用可	使用可	※	—
・編集制限						
・テキスト抽出制限						
・ブラウザ以外の 参照制限	使用可		使用不可	使用不可	—	

※ LibreOffice 使用の場合、既にPDF化されているファイルにはオプションを設定できません。

各製品のインストール方法

IM-PDFAutoConverterのインストール

以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFAutoConverter](#)

IM-PDFCoordinatorのインストール

以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFCoordinator](#)

LibreOffice (Windows版) のインストール

intra-mart Accel Archiver で登録した文書をサムネイル表示する場合には、「LibreOffice」をインストールする必要があります。

なお、intra-mart Accel Platform を分散環境で構築している場合には、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。

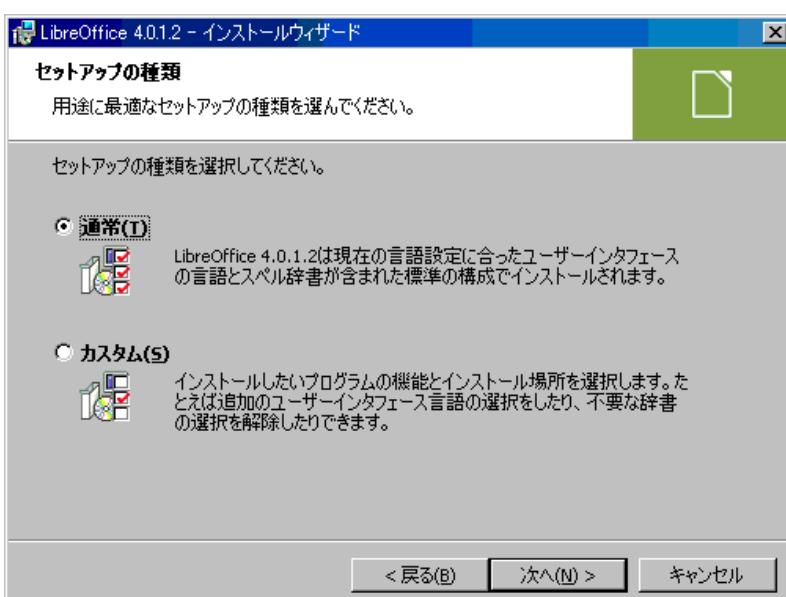
1. 「LibreOffice」のインストーラを下記のサイトからダウンロードしてください。

<http://ja.libreoffice.org/>

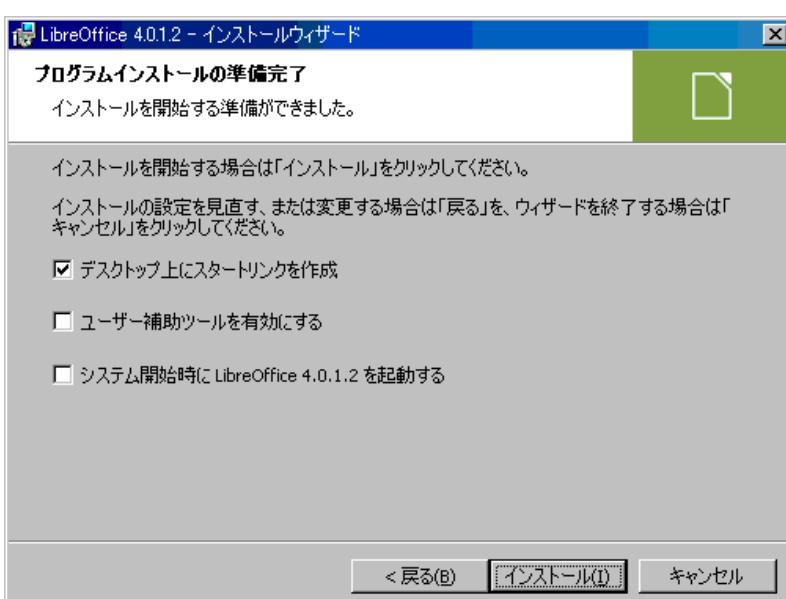
2. ダウンロードしたファイルを起動します。



3. 「通常」を選択した状態のまま「次へ」をクリックします。



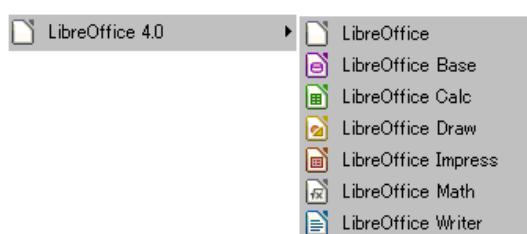
4. 特に指定しない場合は、デフォルト値のまま「インストール」をクリックします。



5. 「完了」ボタンをクリックします。



6. Windowsのスタートメニューに「LibreOffice」のメニューが登録されれば、正常にインストールが完了しています。



LibreOffice (Linux版) のインストール

intra-mart Accel Archiver で登録した文書をサムネイル表示する場合には、「LibreOffice」をインストールする必要があります。
なお、intra-mart Accel Platform を分散環境で構築している場合には、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。

1. 「LibreOffice」のインストーラを下記のサイトからダウンロードしてください。
<http://ja.libreoffice.org/>
2. ダウンロードしたファイルを解凍します。

```
# tar zxf [ダウンロードしたファイル名]
```

3. ダウンロードしてきたディレクトリ内にある「RPMS」に移動します。

```
# cd [ダウンロードしたファイル名]/RPMS/
```

4. RPMSディレクトリ内のインストーラを全て実行します。

```
# rpm -Uvh *.rpm
```

5. RPMSの中にある「desktop-integration」ディレクトリに移動します。

```
# cd desktop-integration/
```

6. ショートカット作成用のインストーラを実行します。

```
# rpm -Uvh *redhat*.rpm
```

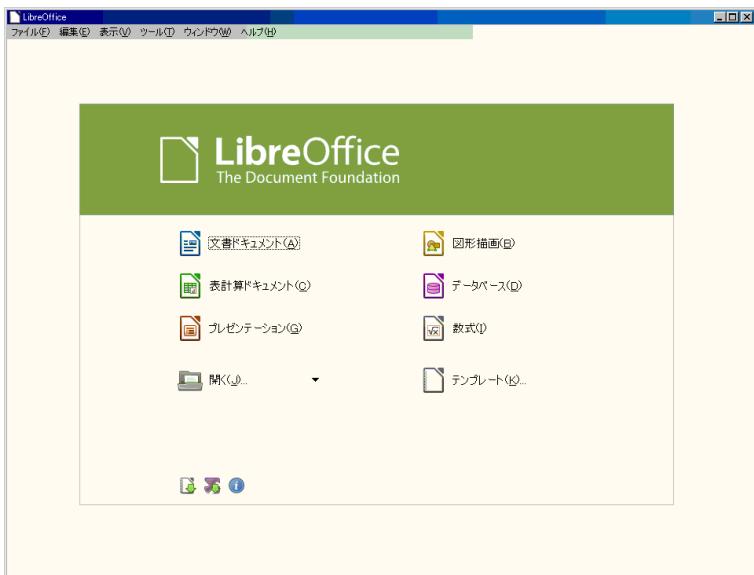
関連アプリケーションの起動・停止

LibreOfficeの起動・停止(Windows版)

- 以下のコマンドより LibreOffice を起動します。

```
# %LIBREOFFICE_HOME%/program/soffice.exe -accept="socket,host=0,port=8100tcpNoDelay=1;urp;"
```

- 以下の画面が表示されたら起動は完了です。



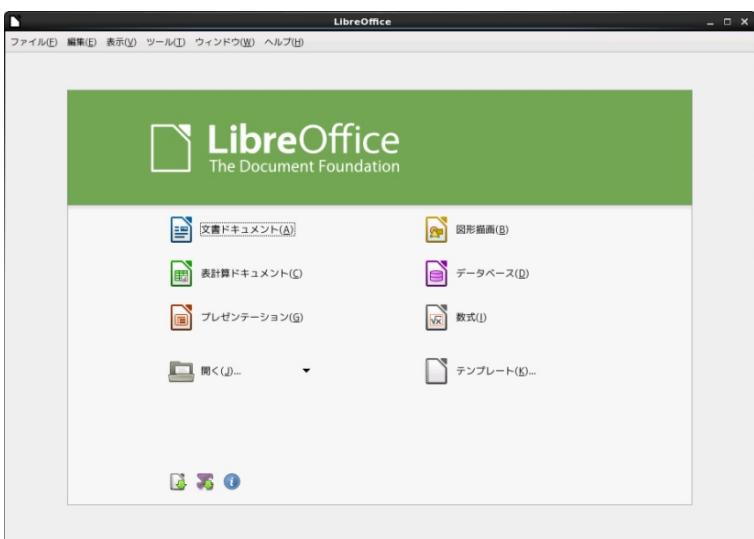
- 停止するには、LibreOffice の画面の「x」ボタンをクリックします。

LibreOfficeの起動・停止(Linux版)

- 以下のコマンドより LibreOffice を起動します。

```
# %LIBREOFFICE_HOME%/soffice -accept="socket,host=0,port=8100tcpNoDelay=1;urp;"
```

- 以下の画面が表示されたら起動は完了です。



- 停止するには、LibreOffice の画面の「x」ボタンをクリックします。

テナント環境セットアップ[°]

- テナント環境セットアップについては、「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、
テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

アップデート・パッチの適用

- IM-Juggling を利用して最新モジュールを適用する事ができます。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

アップデート

- アップデートの適用は、「[アップデートの適用](#)」を参照してください。

パッチ

- パッチの適用は、「[パッチの適用](#)」を参照してください。

アンインストール

- アンインストールについては、「アンインストール」を参照してください。
- LibreOffice のアンインストールについては、同製品の手順に基づいて行なってください。